



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.896 2013年9月2日

ARIBの動き

第 112 回電波利用懇話会を開催

8月29日(木)に、第112回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省 情報通信国際戦略局 田原技術政策課長を講師にお迎えし、「イノベーション創出に向けた情報通信技術政策について」と題して、総務省における ICT 研究開発の概要、情報通信審議会中間答申におけるイノベーション創出の実現に向けた課題、国による具体的な取り組み方策、答申を受けた今後の政策展開等についてご講演をいただきました。

全体をとおり、80名を超える会員の皆様に受講いただき、今後総務省で期待される重点プロジェクトの内容等熱心な質疑応答が行われました。

なお、当会の会員 Web サイト (<http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html>) において、講演のプレゼンテーション資料を公開予定です。



第 112 回電波利用懇話会の様子と講師の田原技術政策課長

ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合及び SET2013 について

地上デジタルテレビ方式として ISDB-T 方式を採用した国々が、その円滑な導入と普及を図ることを目的に設立された ISDB-T インターナショナルフォーラムの技術調和会合が、8月19日、ブラジル SET2013（後述）に併せてブラジル・サンパウロで開催されました。今会合には、日本、ブラジル、ウルグアイ、チリ、ベネズエラの 5 か国から参加し、日本からは総務省放送技術課塩崎企画官、NHK の武智様、実井様、川那様、南米各国（コスタリカ、ペルー、エクアドル、ウルグアイ）に派遣されている 4 名の JICA 専門家の方々及び当会から藤本研究開発本部次長が参加しました。

まず、本年 5 月のウルグアイ会合で合意された「EWBS（緊急警報放送システム）」調和文書について、EWBS-WG 議長の吉見コスタリカ派遣 JICA 専門家から報告が行われました。

続いて、ウルグアイ会合から持ち越しとなっているデータ放送に関する「ミドルウェア」調和文書について議論が行われ、ウルグアイ会合後に修正提案があった国は、日本の他 3 か国であったことが報告されるとともに、ITU-R SG6 及び ITU-T SG9 の IBB(Integrated Broadband Broadcast)-TV のレポートを務めている NHK の武智様から、これまでの ITU での国際標準化状況や地域標準との関係、今後の活動の方向性などについて説明を行いました。今後、ミドルウェア WG にてメールベースで議論を行い、来年 3 月のベネズエラ本会合での調和文書の合意を目指すこととなりました。

最後に、ボツワナが本年 2 月にアフリカで初めて ISDB-T を採用したことから、アフリカ等地上 TV 放送を 8MHz の帯域幅で行っている国のための ISDB-T 標準について議論が行われました。本議論においては、当会のデジタル放送普及活動作業班（DiBEG）のタスクフォースで検討を行った 8MHz 帯域幅国向け ISDB-T 標準案について、タスクフォース主任の NHK の実井様が説明を行いました。また、我が国から、現在の「ハードウェア」調和文書を 8MHz 帯域幅の標準も含むものとするための修正案を提示する用意がある旨提案を行ったところ、各国から賛同が得られました。今後、DiBEG タスクフォースにおいて修正案の検討を行い、来年 3 月のベネズエラ会合での合意をめざして同フォーラムの「ハードウェア」WG へインプットしていくこととなります。

ブラジルの SET（テレビ技術者協会）が毎年 8 月に開催している TV 放送技術に関する展示会とパネル形式の講演会による SET2013 が、8月19日から 8月22日まで、ブラジル・サンパウロで開催されました。

展示会では当会の会員企業及びそのブラジルでの合弁企業等（計 9 社）も展示を行うなど、例年と同様にぎわいを見せていました。

講演会では我が国から、総務省塩崎企画官（ISDB-T 国際展開）、NHK の実井様（8MHz ISDB-T 標準案）、川那様（アナログ放送終了）、鹿喰様（スーパーハイビジョン）、武智様（ハイブリッドキャスト）、ペルー派遣 JICA 専門家の広瀬様（ペルーの EWBS 及び GINGA プロジェクト）、当会の藤本次長（放送に関する標準化状況）が、それぞれのセッションにおいてブラジルやその他の国のパネリストとともに講演を行い、活発な質疑応答が行われました。その他、南米最大の民間放送局である TV グロボのビッテンコート技術最高責任者と NAB（米国放送事業者協会）のスミス会長との対談など興味深いセッションが行われました。



吉見専門家



NHK 武智様



NHK 実井様



展示会の模様



塩崎企画官



広瀬専門家



NHK 川那様



NHK 鹿喰様



スミス氏（左端）とビッテンコート氏（右端）

第 207 回技術委員会を開催

第 207 回技術委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 2013年8月28日(水) 午後3時30分から4時35分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) APT WRC 準備会合及び ITU-R 関連会合の主要結果について
 - (2) one M2M Steering Committee 会合の概要について
 - (3) 第 89 回規格会議の開催について
 - (4) CEATEC JAPAN 2013 での ARIB の出展について
 - (5) その他

今週の ARIB 内会議スケジュール (9月2日～9月6日)

今週は開催を予定している会議はありません。

ARIBからのお知らせ

CEATEC JAPAN 2013でのARIBの出展について

アジア最大級の IT・エレクトロニクス総合展『CEATEC JAPAN 2013』が、10月1日(火)から5日間、幕張メッセにおいて開催されます。

ARIB では同展示会に協賛するとともに、下記のとおり、今年も ARIB 独自ブースを設けて、電波システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介します。また、電波功績賞を受賞されたシステムの紹介を行うことにより、電波の有効利用に対する関心や理解を深めていく予定です。さらに昨年と同様に展示会場内にて、新技術の標準化動向を紹介するセミナーを行います。

なお、今年度も CEATEC へ出展するパネル展示の内容については、ARIB ホームページにて展示会開催前から公開することとしています。

記

- 1 会期：2013年10月1日(火)～5日(土) 10:00～17:00
招待日 10月1日(火)
公開日 10月2日(水)～4日(金)
無料公開日 10月5日(土)
- 2 会場：幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)
ARIB 出展場所：ライフ&ソサエティステージ(ホール5小間番号5F53)
- 3 出展内容
 - (1) パネル展示による ARIB の概要、研究開発活動、国際協力活動の紹介
 - (2) ARIB の第24回電波功績賞を受賞した技術やシステムの紹介動画
- 4 セミナーの開催
 - (1) 日時：10月1日(火) 14:00～15:00、15:30～16:30
 - (2) 場所：未定
 - (3) テーマ：「通信放送分野における新技術の標準化動向(仮)」
「米国放送分野における新技術の標準化動向(仮)」

※ 聴講は CEATEC の Web サイトからの事前予約制となっておりますが、席に余裕があれば予約なしでも聴講可能です。
(コンファレンス聴講予約 コンファレンストラック別「新技術・新製品セミナー」)
- 5 会場へのアクセス：JR 京葉線 海浜幕張駅(会場まで徒歩7分)
JR 総武線 幕張本郷駅、京成線 幕張本郷駅(会場までバス15分)
- 6 入場：入場料が無料となる Web 事前登録をお勧めします。
詳細は、CEATEC の Web サイト (<http://www.ceatec.com/ja/index.html>) をご覧ください。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp